スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

北海道札幌市

自 治 体 名 ： 北海道札幌市
担 当 課 名 ： 札幌市教育委員会 学校教育部 学びのプロジェクト担当課
電 話 番 号 ： 011-211-3851

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	1,121㎢
人口	1,967,361人
公立中学校数	97校
公立中学校生徒数	43,673人
部活動数 （運動部活動のみ）	921部活
地域クラブ活動数	0クラブ ※市教委の認定を受けた地域クラブ活動数
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

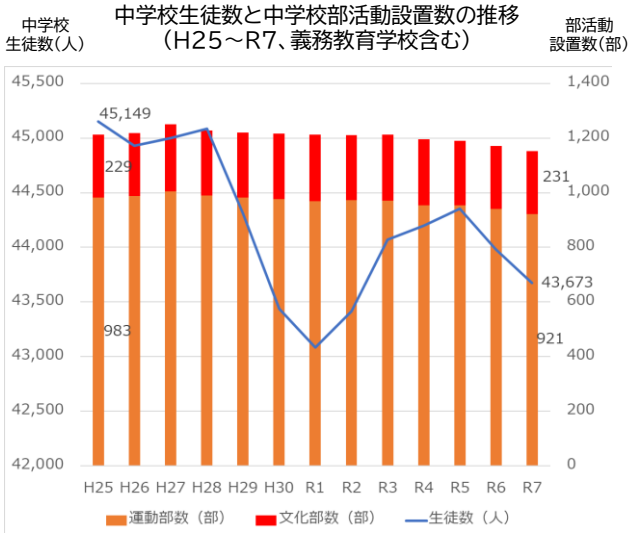
地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

札幌市の中学校生徒数は、平成25年度の45,149人から令和7年度には43,673人と、約1,500人減少。学校の部活動設置状況についても、令和7年度は運動部が921部、文化部が231部、合計で1,152部となっており、平成25年度と比較して60部減少。

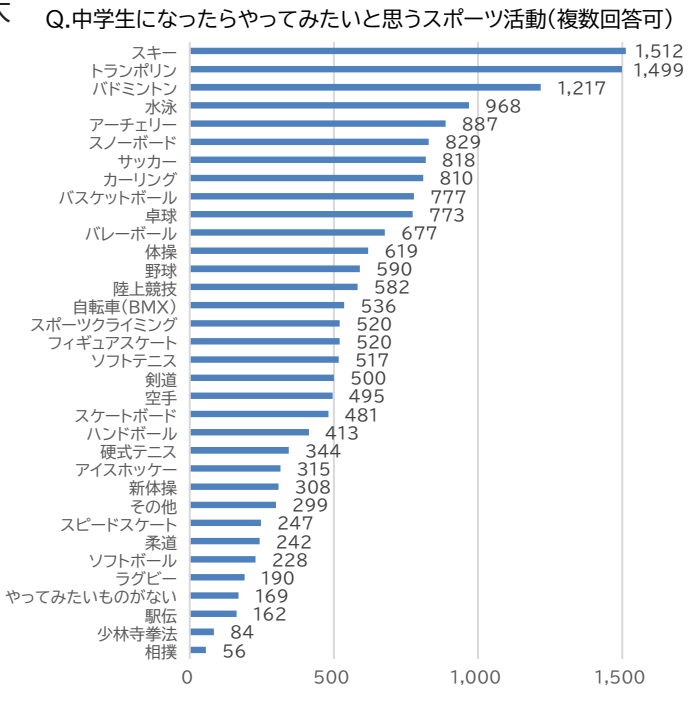
現状、中学校生徒数及び部活動設置数ともに微減の状況であるが、昨今の出生者数の状況を踏まえると、将来的には札幌市においても大幅な中学校生徒数の減少が見込まれる。

そのため、少子化が進む中にあっても、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するため部活動改革を進めていく必要がある。

また、新たな活動環境の整備に当たっては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、子ども達のニーズに応じた多種多様な体験機会の創出を目指す必要がある。



出典：中学校生徒数・・・札幌市教育データ集
中学校部活動設置数・・・札幌市教育委員会調べ

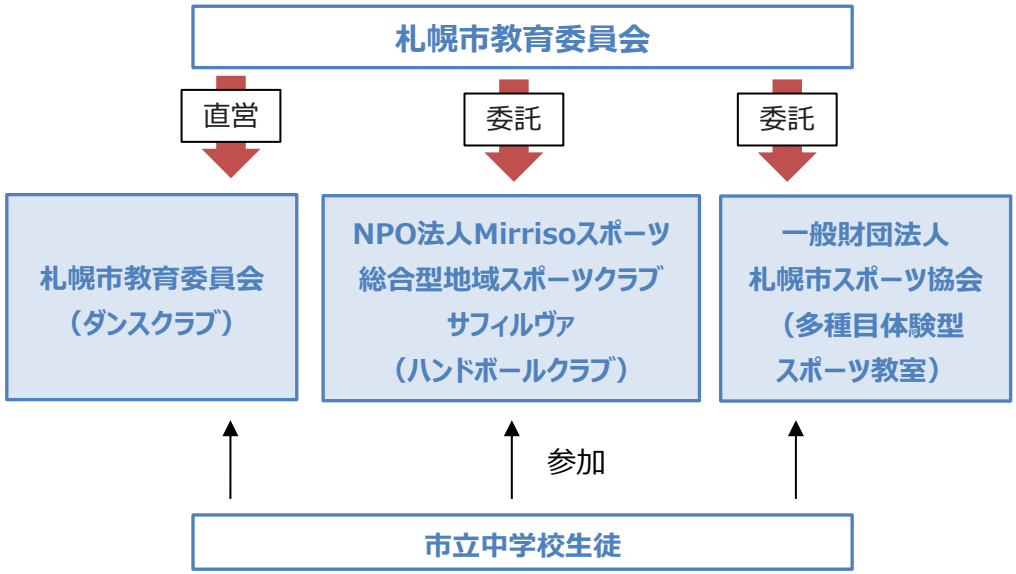


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（学びのプロジェクト担当課・児童生徒担当課）

・部活動改革の主管、学校との調整、中学生の地域スポーツクラブ活動の環境整備
・有識者や地域の関係団体を交えた「部活動地域移行及び地域スポーツ・文化芸術活動の機会確保に向けた検討委員会」の開催

◉首長部局（スポーツ振興担当課）

・市内スポーツ関係団体との連絡・調整

年間の事業スケジュール

■ダンスクラブ

令和7年10月～令和8年2月（計16回開催）

■ハンドボールクラブ

令和8年1月～2月（計8回開催）

■多種目体験型スポーツ教室

令和7年9月～令和8年2月

（14種目、各種目1～3回の開催）

■有識者や地域の関係団体を交えた検討委員会の開催

令和8年1月（第4回）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		3クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		1クラブ（2部活）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		2クラブ
全体の指導者数	51人	全体の運営スタッフ数	9人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
ハンドボールクラブ	総合型地域スポーツクラブ/NPO法人	ハンドボール	・平日 0回 ・休日 8回	1回あたり2時間	1年：32人 2年：36人	令和8年1月～2月（初級・中級に分けて、計4日、8回実施）	9人	3人（内、兼務 1人）	0 円	大会参加無
Let'sやるスポ！中学生	一般財団法人	多種目体験型	・平日 0回 ・休日 24回	1回あたり2時間	1年：92人 2年：94人 3年：42人	令和7年9月～令和8年2月（計24回）	37人	4人	500円/回	大会参加無
ダンスクラブ	札幌市教育委員会	ダンス	・平日 0回 ・休日 16回	1回あたり1時間30分	1年：12人 2年：6人 3年：8人	令和7年10月～令和8年2月（初心者・経験者に分けて、計8日、16回実施）	5人	2人	8,000円（全8回分）	大会参加無

2.実証内容と成果

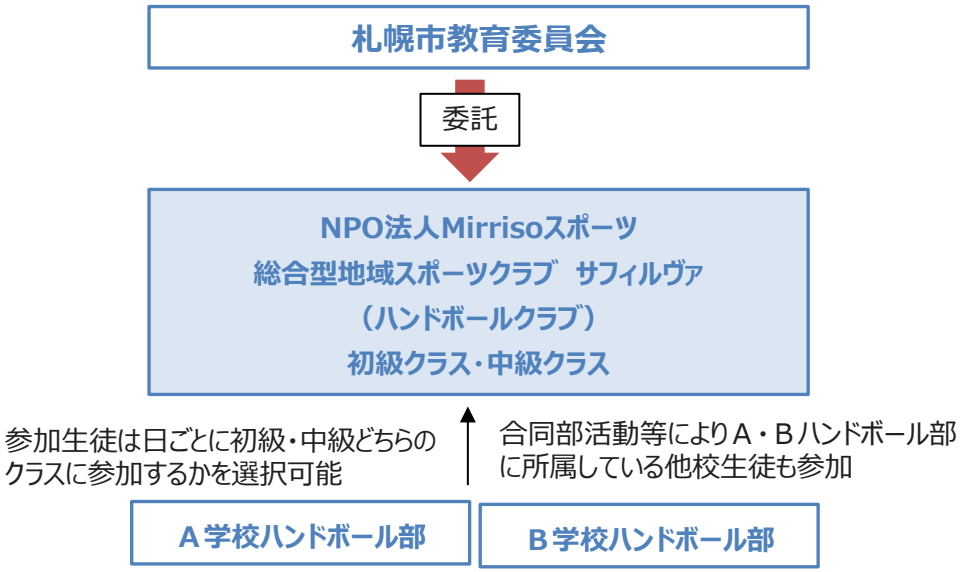
スポーツ庁

主な取組例①

●NPO法人Mirrisoスポーツ（総合型地域スポーツクラブサフィルヴァ）活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ハンドボール
運営団体名	NPO法人Mirrisoスポーツ（総合型地域スポーツクラブサフィルヴァ）
期間と日数	令和8年1月～2月までの期間で計8日間実施（午前・午後で初級・中級クラスに分けて開催したため、計4日・8回実施）
指導者の主な属性	クラブ指導者/学校教員
活動場所	厚別中学校/厚別北中学校
主な移動手段	徒歩、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	0円
1人あたりの保険料	事業全体で78,050円 （内訳） 参加者傷害保険　45,270円 指導者傷害保険　14,000円 主催者賠償責任保険　18,780円

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●運営管理責任者

役割：活動における管理者として、学校、保護者への対応を行う

（保護者説明、学校施設の利用にあたっての調整など）

●指導者・トレーナー

役割：生徒への実技指導などを行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

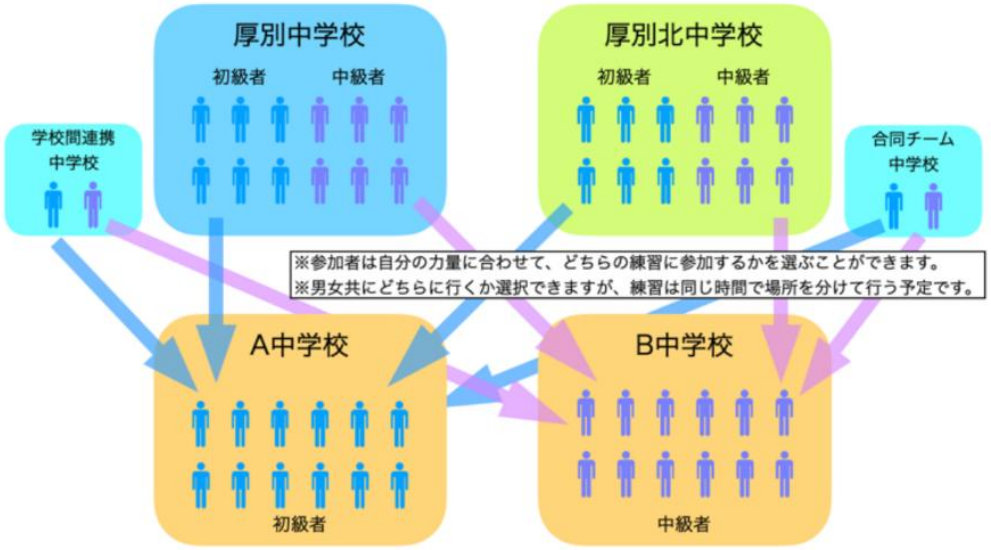
取組事項

・市域が広く、中学校97校に約4万3千人の生徒が通う札幌市において、部活動の地域展開を進めるにあたっては、手法の一つとして競技ごとの地域展開について検討を進めていた。

・市内で活動している部活動数が少なく、かつ活動の地域が比較的固まっているハンドボール部に焦点をあて、持続可能な体制整備を検討するために、市立中学校のハンドボール部2部活の休日における活動の管理運営を総合型地域スポーツクラブ（サフィルヴァ）へ委託し、サフィルヴァが指導者の確保、保護者説明、学校との調整などを含めた地域クラブ活動を実施した。

各日程・会場ごとの参加者数			
日付	実施時間	会場	参加者数
1月11日（日）	8:30～11:30	厚別中学校	47人
	14:00～17:00	厚別北中学校	16人
1月17日（土）	8:30～11:30	厚別中学校	38人
	14:00～17:00	厚別北中学校	24人
2月1日（日）	8:30～11:30	厚別中学校	37人
	14:00～17:00	厚別北中学校	20人
2月7日（土）	8:30～11:30	厚別中学校	33人
	14:00～17:00	厚別北中学校	16人

・活動のイメージ図



※A・Bは厚別・厚別北中学校のいずれかになります。

・隣接する中学校2校のハンドボール部をベースとした地域クラブ活動を実施し、対象となるハンドボール部に所属する生徒のほか、合同部活動や合同チームで関わっている他校生徒の参加も認めることで、今後の地域展開に向けた広域的な実施についても検討を進めることができた。

・活動にあたり、クラス分け（初級：午前、中級：午後）を行い、生徒は日ごとに自身で参加するクラスを選択できる形で実施した。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組の成果

・参加者アンケートの結果、全体的に非常に高い満足度を示した生徒が多く、総合型地域スポーツクラブ（サフィルヴァ）による地域クラブ活動の運営に係る実現可能性を確認することができた。

・参加生徒の満足度について、練習内容の総合的な満足度（5点満点）は平均4.32点と高く、回答者の9割が「満足（4点）」または「非常に満足（5点）」と回答。また、生徒が参加するクラスを選択することができる形での活動についても、回答者の8割が「満足（4点）」または「非常に満足（5点）」と回答した。

・技術・スキルの向上実感も成果の一つだった。 特に満足している点として最も多く挙げられたのは、「技術やスキルが向上したと感じる」（全体の33.1%）だった。「多様な練習メニューがあったこと」（26.1%）も挙げられており、外部指導者による専門的でバリエーションに富んだ指導が生徒の成長意欲を満たしたと考えられる。

今後の取組における課題

1.社会的基盤としての定着と信頼の構築

地域住民や行政から求められる役割を果たし、信頼を獲得し、「社会的な仕組み」として地域に定着させていくことが大きな課題である。

2.活動場所の確保と利用調整

学校施設のセキュリティの観点から、特に校舎棟を使用する文化部などの活動場所の調整が必要となることや、休日の施設利用における更衣室や部員名簿の保管など、調整すべき課題が今後大きくなってくると考えられる。

また、交通アクセスが不便な学校や駐車場所が少ない学校では、外部人材の確保が難しくなるという課題も出てくることが予想される。これらのことから、地方自治体・学校と、クラブの運営団体・実施団体との間で、円滑な連携・協働体制を構築することが求められる。

課題への対応方針

・地方公共団体（行政と現場）との連携強化と協働

行政と緊密に連携し、地域課題解決に資する事業を共同で推進していく。

・学校との連携・協働（部活動の地域展開への対応）

学校と連携・協力し、クラブが学校の運動部活動への指導者を提供することで、子どもたちに多様なスポーツ環境を提供する。

活動場所の確保に関して、学校や教育委員会と利用条件やセキュリティ、利用調整に関するルール作りを円滑に進めていく。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

・札幌市から委託を受けたNPO法人Mirrisoスポーツ（総合型地域スポーツクラブサフィルヴァ）、札幌ハンドボール協会との連携によって事業を実施。
・札幌ハンドボール協会内の日本スポーツ協会公認指導者に依頼をすることで、有資格者かつ上級資格をもった指導者を選定（コンプライアンスやインテグリティの面からも指導者の質を確保）。
・トレーナーを配置することで体幹トレーニングなど練習メニューの充実を図った。
・なお、指導者としては、ハンドボール部の顧問教員も兼職兼業により従事。

取組の成果

・総合型地域スポーツクラブがハンドボール協会と連携することで、指導者の質を確保することができた。このことは、参加者アンケートの結果にも表れており、練習内容に対する総合的な満足度は非常に高く、回答者の88.0%が5段階評価で「4」または「5」をつけた（「5」が44.8%、「4」が43.1%）。
・また、満足点として最も多く挙げられたのは「技術やスキルが向上したと感じる」（全満足項目の33.1%）であったことから、指導によって具体的な技術の習得・改善につながったことが伺える。
・加えて、「多様な練習メニューがあったこと」（26.1%）も高く評価されており、指導者が飽きさせない工夫と幅広い知識を提供したことが評価につながった。
・基礎体力への貢献についても一定の成果があった。「体力や持久力がついた」（12.7%）と感じた生徒もおり、技術面だけでなく基礎的な身体能力の向上にも貢献した。

今後の取組における課題

・複数の指導者がいることで役割が分散された一方、指導者間の打ち合わせ・連携が必要となり、生徒たちに最大限の効果を発揮させるためには指導者間で密な連絡・連携が求められる。
・外部指導者による専門的・多角的な指導に対する肯定的な意見が多く寄せられたが、初対面の生徒たちとの関わりの中で、声かけの仕方や関係作りの面では課題が残った。

課題への対応方針

・全体指導計画、各回のテーマ、指導ポイントを全指導者間で完全に共有し、指導内容の重複や漏れを防ぐ。
・メイン指導者（外部専門家）、サポート指導者（学校顧問）、トレーナー（体調・フィジカル担当）の役割と責任範囲を明確に定義した「役割シート」を作成し、事前に合意形成を行う。
・技術指導だけでなく、姿勢、努力、仲間への声かけなど、生徒の行動全般に対する肯定的で具体的な声かけの例を共有する。（ポジティブフィードバック）
・これらの対応により複数の指導者が連携することによる専門性の高さを維持しつつ、指導者間の連携不足と、生徒との円滑な関係構築における課題を解消していく。そうすることで生徒一人ひとりへの指導効果を最大化し、より安全で質の高い活動を提供する。

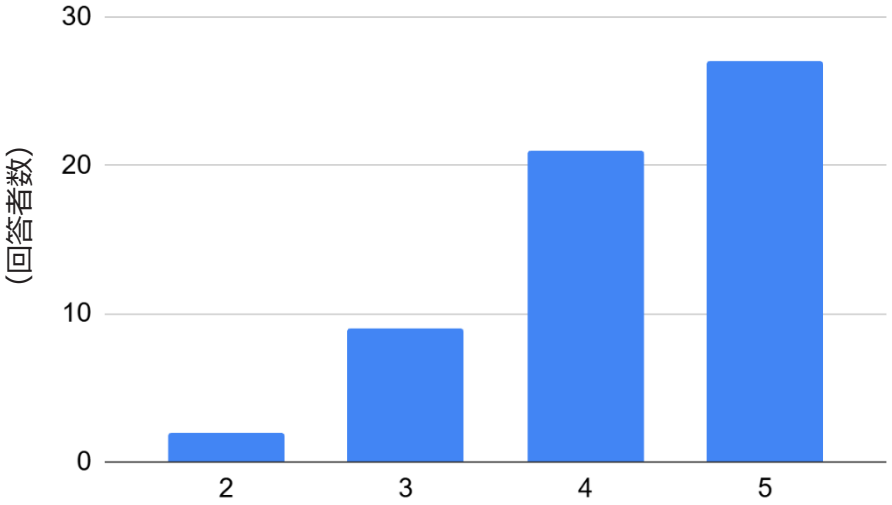
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

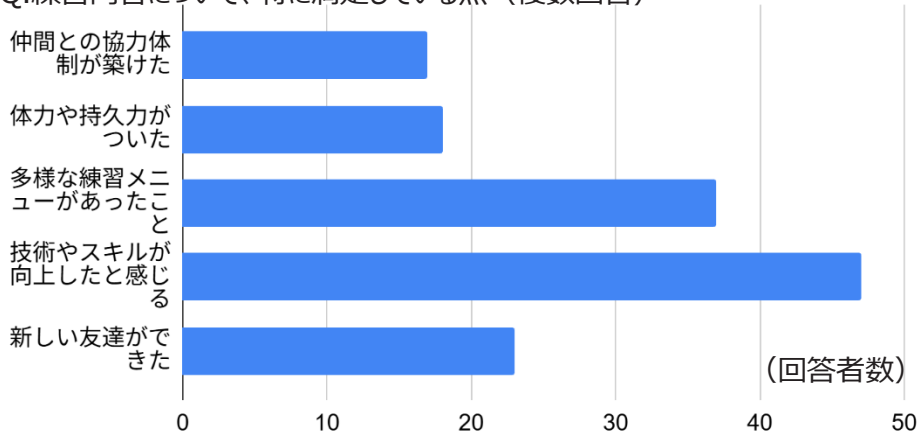
アンケート結果・参加者/関係者の声

●参加生徒へのアンケート結果

Q.クラス別活動についての評価の分布　（1:不満, 5:満足）



Q.練習内容について、特に満足している点（複数回答）



●参加者/関係者の声

参加生徒①

トレーナーの方もついてもらい新しいトレーニングなどを知ることができました。ディフェンスが自分より少し大きい人を止められるようになりました。ありがとうございました。

参加生徒②

オフェンス、ディフェンスがいろいろな視点から見られるようになった。特にディフェンスがよく学べました。

参加生徒③

もう少し長い時間練習がしたい。練習の難易度が少し高かった。いつもやっている練習ではしないような練習があり、とても楽しかった。

参加生徒④

全体的にすごく良かったが、人数が多すぎて休憩時間が長くなったことが少し残念だった。

参加生徒⑤

ハンドボールの基礎的な部分が上達した。
とても指導がていねいで、いろんなことを教わることができました。

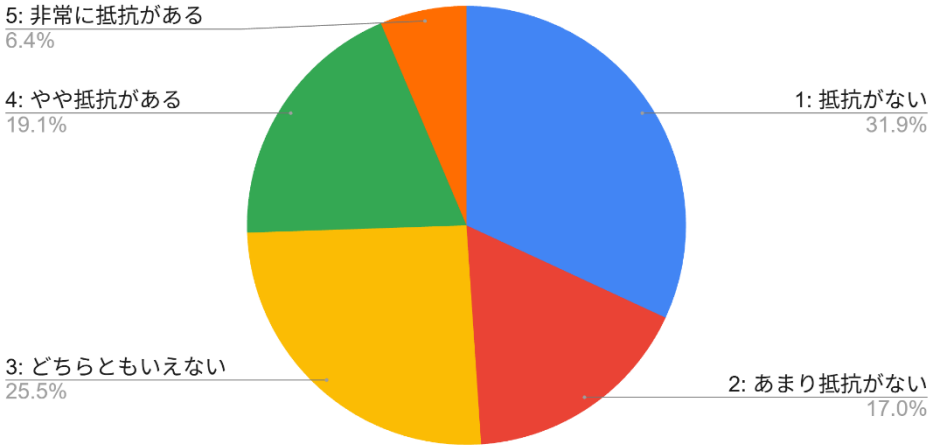
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

●保護者アンケート結果

Q.活動場所が遠方になることに抵抗があるか



●参加者/関係者の声

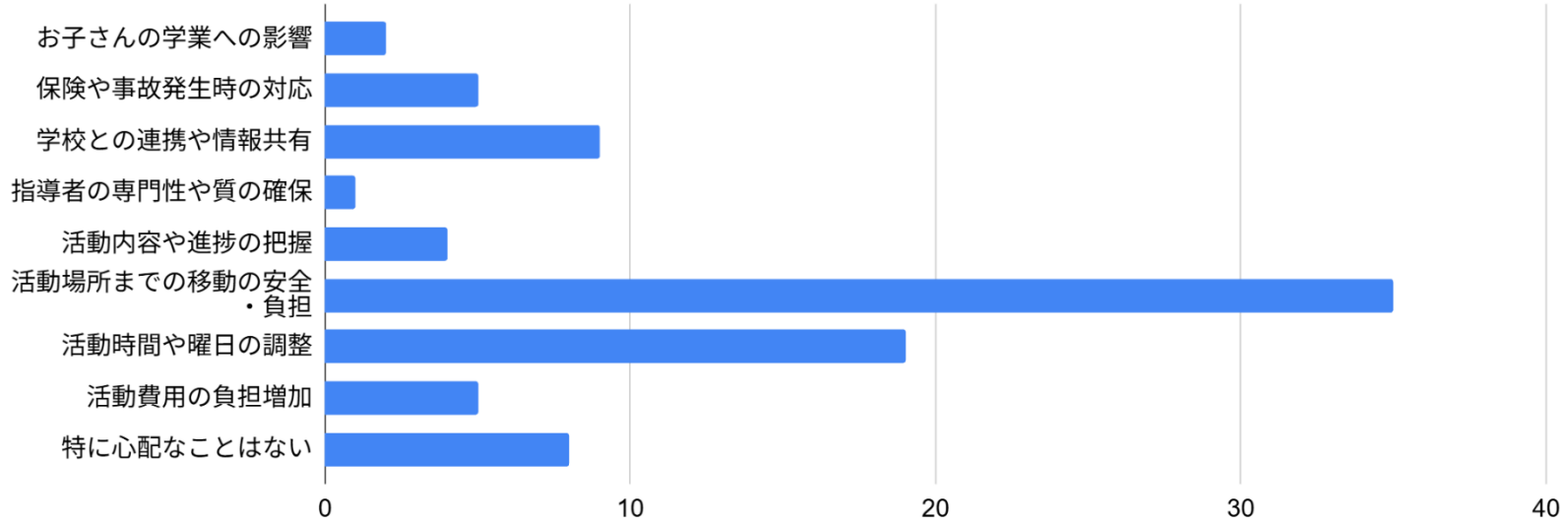
参加生徒の保護者①

環境が変わりモチベーションが上がったように感じました。別の学校にも友達がたくさんできたようでハンドボールを楽しく取り組めているようでした。
中3になったときに中体連がなくなってしまうので、今後、どういう展開になるのかわかりませんが、またこういう機会を設けてほしい。中体連の代わりにクラブチームのほうで出場できれば子ども達の目標にもつながると思います。

参加生徒の保護者②

移動時間が長くなる場合は、活動時間の確保が難しくなるので、トータルの時間で考えてほしい。

Q.部活動の地域展開において、心配な点・不安な点（最も近いものを3つまで選択）



2.実証内容と成果③

スポーツ庁

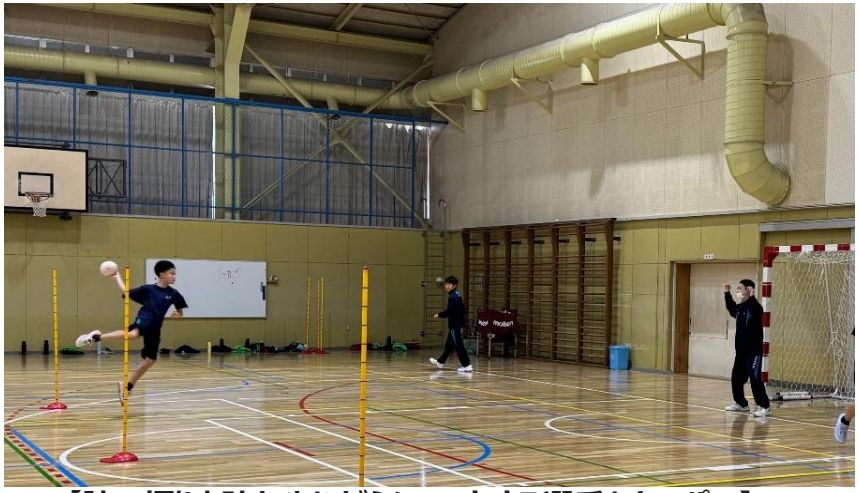
参考資料（ハンドボールクラブの活動の様子）



【講師からのレクチャー後、練習に取り組む生徒たち】
1/11　厚別中学校



【講師を囲み説明を聞く生徒たち】
2/1　厚別北中学校



【腕の振りを確かめながらシュートする選手とキーパー】
1/11　厚別中学校



【指導者からディフェンスの心得を聞く選手たち】
2/1　厚別北中学校

2.実証内容と成果

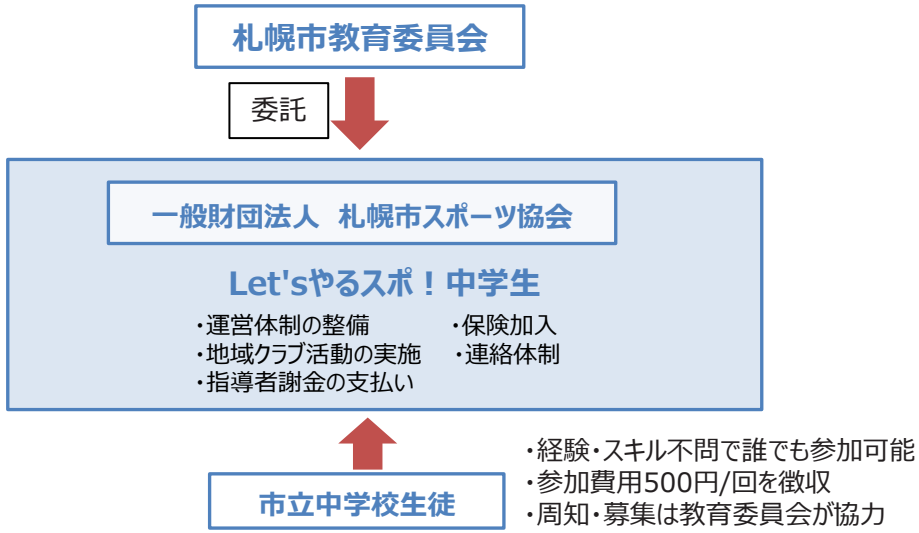
スポーツ庁

主な取組例②

●Let'sやるスポ！中学生活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	HIP-HOP、アーチェリー、スポーツクライミング、ブレイキン、ボクシング、カーリング、スケートボード、ピックルボール、フェンシング、トランポリン、ビームライフル、ダブルダッチ、フィギュアスケート、リズムジャンプ（計14種目）
運営団体名	一般財団法人札幌市スポーツ協会
期間と日数	令和7年9月～令和8年2月までの期間中、各種目に1～3回実施（計24回）
指導者の主な属性	競技団体の指導者
活動場所	市内スポーツ施設
主な移動手段	公共交通機関、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	1回あたり500円
1人あたりの保険料	事業全体で68,500円 （内訳） 参加者傷害保険　30,000円 指導者傷害保険　21,600円 主催者賠償責任保険　16,900円

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

統括責任者

役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う

●指導者　各種目平均3人

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

●運営補助者

役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・市域が広く、中学校97校に約4万3千人の生徒が通う札幌市において、部活動の地域展開を進めるにあたっては、一部地域だけでなく市内全域を想定しながら、多様かつ持続可能なスポーツ環境整備が必要となる。

・そのため、一般財団法人札幌市スポーツ協会（札幌市におけるスポーツ競技団体を総括し、スポーツ施設・健康づくり施設の管理運営と、各種スポーツイベントを開催している団体）へ本事業の実施を委託し、札幌市スポーツ協会は関係する競技団体等と連携のうえで本事業を実施した。

取組の成果

・札幌市スポーツ協会は、関係する競技団体等と連携することで、HIP-HOP、スケートボード、アーチェリーなど従来の中学校部活動にはない種目も含む14種目の多種目体験型地域スポーツクラブを実施することができた。

・また、札幌市スポーツ協会が管理運営する市内スポーツ施設を有効に活用することで、多様な種目に対応するとともに、市内全域から参加する中学生にとってアクセスしやすい会場で実施することができた。

今後の取組における課題

・本事業により市内の中学生のために多様なスポーツ体験の機会を提供することができたが、本事業への参加をきっかけとして参加した種目を継続して続けたいという生徒の受け皿の整備が課題。

・継続的な地域クラブ活動としていくためには、持続可能な収支構造の構築に向けて受益者負担や他の財源について検討が必要。

課題への対応方針

【実施概要】

日程	種目	会場
9/6(土)	スケートボード	厚別山本公園
9/13(土)	HIP-HOP	東区体育館
9/15(月祝)	ピックルボール	白石区体育館
9/23(火祝)	ブレイキン	中島体育センター
9/27(土)	フェンシング	北ガスアリーナ札幌46
10/11(土)	トランポリン	CRASS
10/25(土)	ビームライフル	宮の沢屋内競技場
11/1(土)	ダブルダッチ	東区体育館
11/3(月祝)	ボクシング	北ガスアリーナ札幌46
11/8(土)	スポーツクライミング	のぼのぼ・レインボークリフ
11/15(土)	フェンシング	北ガスアリーナ札幌46
11/24(月祝)	ボクシング	北ガスアリーナ札幌46
11/29(土)	HIP-HOP	白石区体育館
12/6(土)	カーリング	どうぎんカーリングスタジアム
12/13(土)	アーチェリー	北ガスアリーナ札幌46
12/20(土)	スポーツクライミング	のぼのぼ・レインボークリフ
1/10(土)	ピックルボール	東区体育館
1/12(月祝)	カーリング	どうぎんカーリングスタジアム
1/17(土)	スポーツクライミング	のぼのぼ・レインボークリフ
1/24(土)	フィギュアスケート	月寒体育館
1/25(日)	フィギュアスケート	月寒体育館
2/7(土)	リズムジャンプ	白石区体育館
2/11(水祝)	ボクシング	北ガスアリーナ札幌46
2/14(土)	ピックルボール	中島体育センター

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実　取組事項

スケートボード

■実施概要

日時	令和7年9月6日（土）10:00～12:00				
会場	厚別山本公園　アクションスポーツ広場				
指導員	3人	運営スタッフ	3人	参加人数	3人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
準備体操、競技説明	10分	
乗り方、進み方練習	60分	スケートボードの取り扱い、乗り方、進み方の練習
フリースケーティング	50分	フリーでスケートボードの滑走

■アンケート結果の概要

◆公共交通機関では会場へのアクセスが困難な場所であったが、不満の声はなかった。
◆参加者は少なかったが、体験内容の満足度は高く、全員が活動継続の希望をしていた。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、93.3%だった



HIP-HOP

■実施概要

日時	①令和7年9月13日（土）9:30～11:30 ②令和7年11月29日（土）9:30～11:30				
会場	①東区体育館　体育室、②白石区体育館　体育室				
指導員	1人	運営スタッフ	2人	参加人数	計6人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
ウオームアップ	10分	
基礎練習	50分	曲を流して基本的な振付の練習
基礎練習	50分	フォーメーションの練習
まとめ	10分	練習で習った振り付けで1曲とおして踊る

■アンケート結果の概要

◆参加者のうち5人（83.4%）はダンス経験者であり、練習場所を求めている傾向にあった。
◆女子生徒が4人（66.7%）と半数以上であった。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、96.6%だった。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実　取組事項

ピックルボール

■実施概要

日時	①令和7年9月15日（月）9:30～11:30 ②令和8年1月10日（土）9:30～11:30 ③令和8年2月14日（土）14:00～16:00				
会場	①白石区体育館　体育室、②東区体育館　体育館、 ③中島体育センター　体育室				
指導員	3人	運営スタッフ	3人	参加人数	計29人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
競技の説明、用具の説明、ストレッチ	25分	ルールと用具について
パドルの持ち方、打ち方	15分	
基礎練習	50分	近距離（5M）での実射練習
ゲーム	30分	ダブルスでの試合

■アンケート結果の概要

◆初めて行う参加者が多い競技だったが、またやってみたいという声が多く聞かれた。
◆ラケットスポーツ経験者の参加が24.1%と多かった。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、97.9%だった。



ブレイキン

■実施概要

日時	令和7年9月23日（火祝）9:30～11:30				
会場	中島体育センター　小体育室				
指導員	1人	運営スタッフ	2人	参加人数	4人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
ウオームアップ	10分	
基礎練習	50分	基本のトップロックとフットワーク
基礎練習	50分	フリーズ（チェアー）の練習
競技の説明、まとめ	10分	

■アンケート結果の概要

◆全員が女性であり、ブレイキンの経験者はいなかったが、ダンス経験者は半数いた。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、100.0%だった。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実　**取組事項**

フェンシング

■実施概要

日時	①令和7年9月27日（土）9:30～11:30 ②令和7年11月15日（土）9:30～11:30				
会場	①②北ガスアリーナ札幌46　剣道室・武道室				
指導員	3人	運営スタッフ	3人	参加人数	計14人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
準備体操、競技の説明	20分	用具の説明
基礎練習	50分	構え方や前後の動きのステップの練習
試合	40分	総当たり、トーナメント方式での試合
まとめ	10分	順位表彰

■アンケート結果の概要

◆ほとんどの参加者が初めての体験だった。
◆楽しかった、またやってみたいという声が多く聞かれた。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、97.1%だった。



トランポリン

■実施概要

日時	令和7年10月11日（土）9:30～11:30				
会場	CRASS				
指導員	3人	運営スタッフ	2人	参加人数	23人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
準備体操、競技の説明	20分	レベルによる班分け
基礎練習	40分	通常の跳び方、止まり方、長座、正座での跳び方などの基礎練習
コンビネーション	50分	基礎で習った跳び方を組み合わせての練習
まとめ	10分	

■アンケート結果の概要

◆女性の体験者が60.8%と半数以上であった。
◆少数ではあるがエアリアルやモーグル、チアリーディングなど現在実施している種目に通じる参加者がいた。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、96.5%だった。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実　取組事項

ビームライフル

■実施概要

日時	令和7年10月25日（土）9:30～11:30				
会場	宮の沢屋内競技場　射撃場				
指導員	3人	運営スタッフ	2人	参加人数	27人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
競技の説明	20分	用具についての説明
体験	100分	3射場で1人5射で交代しながら的を狙っての射撃

■アンケート結果の概要

◆この種目では、市内の全ての区から参加があった。
◆宮の沢屋内競技場という場所のためアクセスへの満足度は多種目よりも低かった（79.1%）が、
　指導の内容、練習量等の総合的な満足度は、90.8%だった。



ダブルダッチ

■実施概要

日時	令和7年11月1日（土）　9:30～11:30				
会場	東区体育館　体育室				
指導員	2人	運営スタッフ	2人	参加人数	8人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
準備体操	10分	ウォームアップを兼ねたボール遊び
基礎練習	50分	ロープ内への入り方、跳び方、ロープのまわし方
チーム練習	50分	4人チームでの演技練習
まとめ	10分	演技披露

■アンケート結果の概要

◆経験者と未経験者が半々であった。
◆楽しかった、またやってみたいという声が多く聞かれた。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、97.5%だった。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実　取組事項

ボクシング

■実施概要

日時	①令和7年11月3日（月祝）9:30～11:30 ②令和7年11月24日（月祝）9:30～11:30 ③令和8年2月11日（水祝）9:30～11：30				
会場	①②③北ガスアリーナ札幌46　ボクシング室				
指導員	3人	運営スタッフ	2人	参加人数	計31人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
準備体操、競技の説明	10分	ストレッチ
基本練習	35分	構え方、ステップの練習
パンチの練習	50分	ジャブ、ストレート、フック、アッパーの練習
サーキット	15分	ミット打ち、サンドバック、スパーリング等を時間を決めて流れで練習
まとめ	10分	整理体操

■アンケート結果の概要

◆男子生徒が24人（77.4%）と圧倒的に多かった。
◆高校でボクシングを始めたいという参加者がいた。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、98%だった。



スポーツクライミング

■実施概要

日時	①令和7年11月8日（土）9:00～11:00 ②令和7年12月20日（土）9:00～11:00 ③令和8年1月17日（土）9:00～11:00				
会場	①②③クライミングランドのぼのぼ、レインボークリフ				
指導員	5人	運営スタッフ	3人	参加人数	計39人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
装具の説明、準備体操	10分	体験レクチャー、ハーネスの装着
アトラクション自由体験	60分	「クライミングランドのぼのぼ」にて各アトラクションを体験
クライミング・ボルダリング体験	50分	「レインボークリフ」にて本格的なボルダリング、ロープクライミングを体験

■アンケート結果の概要

◆約半数（48.7%）が普段と違うスポーツを体験したいとの結果だった。
◆楽しかった、またやってみたいという声が多く聞かれた。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、95.8%だった。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実　取組事項

カーリング

■実施概要

日時	①令和7年12月6日（土）10:00～12:00 ②令和8年1月12日（月祝）10:00～12:00				
会場	①②どうぎんカーリングスタジアム				
指導員	3人	運営スタッフ	2人	参加人数	計12人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
ガイダンス	10分	講師紹介、競技の説明、防具の装着、ストレッチ
基礎練習	30分	ストーンを持たずに投球フォームの練習
基礎練習	30分	実際にストーンを使って投球練習、スイープ練習
ミニゲーム	50分	ゲーム形式の練習

■アンケート結果の概要

◆経験者は10人（83.3%）と、多かった。
◆楽しかった、またやってみたいという声が多く聞かれた。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、100%だった。



アーチェリー

■実施概要

日時	令和7年12月13日（土）9:30～11:30				
会場	北ガスアリーナ札幌46　アーチェリー室				
指導員	5人	運営スタッフ	2人	参加人数	23人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
競技の説明、用具の説明	30分	ルールと装具のつけ方、矢の取り方について
ストレッチ	10分	
構え方	20分	姿勢と構え方、照準の合わせ方
基礎練習	50分	近距離（5M）での実射練習
まとめ	10分	

■アンケート結果の概要

◆ほぼ全員が初めて行う競技だったが、またやってみたいという声が多く聞かれた。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、96.5%だった。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実　取組事項

フィギュアスケート

■実施概要

日時	①令和8年1月24日（土）10:00～12:00 ②令和8年1月25日（日）10:00～12:00				
会場	①②月寒体育館　スケートリンク				
指導員	3人	運営スタッフ	2人	参加人数	計7人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
準備体操、競技の説明	10分	靴の履き方
転び方、立ち方練習	10分	陸上で転び方、立ち方の練習
スケーティング練習	90分	レベルに合わせて前方、後方への滑走練習を反復して行う（希望者はジャンプ練習）

■アンケート結果の概要

◆未経験者がほとんどであり、参加者の男女比がほぼ半々であった。
◆楽しかった、またやってみたいという声が多く聞かれた。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、100%だった。



リズムジャンプ

■実施概要

日時	令和8年2月7日（土）9:30～11:30				
会場	白石区体育館　体育室				
指導員	1人	運営スタッフ	2人	参加人数	2人

■カリキュラム

項　目	時間	内　容
準備体操、競技の説明	30分	ウォーミングアップ、リズムジャンプの説明
基本練習	45分	リズムに合わせて前方、足をクロスさせてのジャンプ練習
応用練習	45分	難易度を上げながらリズムに合わせて基本で習ったジャンプの練習

■アンケート結果の概要

◆参加者が少なかったが、参加者から楽しかったとの結果をいただいた。
◆指導の内容、練習量、会場へのアクセスを含めた総合的な満足度は、90%だった。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組の成果

○市内の競技団体を総括する札幌市スポーツ協会が競技団体などと連携することで、従来の学校部活動にはない種目も含めて、多様なスポーツに気軽に触れることができる地域スポーツクラブ活動を実施することができた。

○参加者アンケートでは、参加者の7割が未経験の種目に参加したことがわかった。また、参加者の4割以上が「普段と違うスポーツに挑戦したい」と回答し、約3割が「機会がなかったこと」を参加理由として挙げたことから、日常では体験しにくい種目に触れる機会の提供につながったことがわかる。

○本事業の実施により、1つの競技種目等だけに専念するのではなく、複数の競技種目等に取り組むマルチスポーツや、レクリエーション的な活動に一定のニーズがあることを確認することができた。

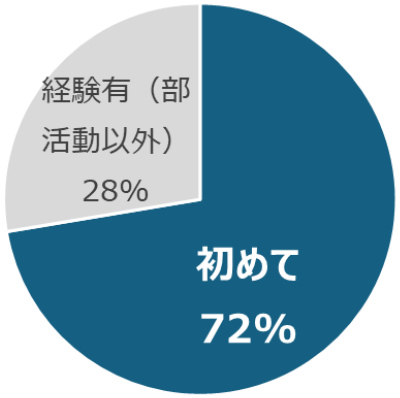
今後の取組における課題　課題への対応方針

アンケート結果からは「今後やってみたい競技・種目」として、今回の事業では取り上げなかった種目が多く挙げられており、多種多様なスポーツ体験機会の創出や、本事業への参加をきっかけとして参加した種目を継続して続けたいという生徒の受け皿の整備が課題。

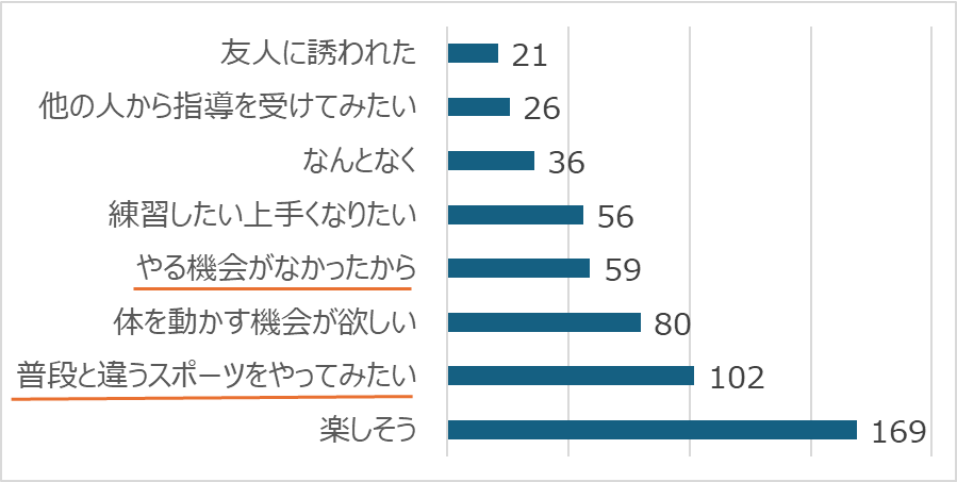
○今後やってみたい競技・種目など（参加者アンケート結果）

・剣道	・エアガン競技	・バレーボール	・ラクロス
・空手	・サバゲー	・走り高跳び	・テニス
・合気道	・ゲレンデスキー	・アイスホッケー	・HADO
・柔道	・ドッジボール	・タグラグビー	
・ジークンドー	・クラブマガ	・スピードスケート	
・サッカー	・システマ	・ジャガー	
・バドミントン	・ハンドボール		

○参加した種目の経験があるか（参加者アンケート結果）



○参加しようと思ったきっかけ（複数回答可）　（参加者アンケート結果）



2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

①種目別参加者数

（単位：人）

学年	性別	HIP-HOP	アーチェリー	スポーツクライミング	ブレイキン	ボクシング	カーリング	スケートボード	ピックルボール	フェンシング	トランポリン	ビームライフル	ダブルダッチ	フィギュアスケート	リズムジャンプ	合計
1年	女性	1	3	7	1	4				1	6	4		2		29
	男性	1	5	12		4		1	17	5	2	12	2	1	1	63
2年	女性	2	4	7	2	3	4	1	1	1	4		2	1		32
	男性		6	12		5	6		7	6	4	8	4	3	1	62
3年	女性	1	2		1		1	1	1		4	1				12
	男性	1	3	1		15	1		3	1	3	2				30
合　計		6	23	39	4	31	12	3	29	14	23	27	8	7	2	228

②参加した種目の経験

（単位：人）

	HIP-HOP	アーチェリー	スポーツクライミング	ブレイキン	ボクシング	カーリング	スケートボード	ピックルボール	フェンシング	トランポリン	ビームライフル	ダブルダッチ	フィギュアスケート	リズムジャンプ	合　計
初めて	1	21	27	4	27	2	2	17	13	16	25	4	4	2	165
経験有（部活動以外）	5	2	12		4	10	1	12	1	7	2	4	3		63
合　計	6	23	39	4	31	12	3	29	14	23	27	8	7	2	228

③一人当たりの参加回数

（単位：人）

15回	9回	8回	7回	6回	5回	4回	3回	2回	1回	合計
1	1	1	1	1	3	2	3	22	107	142

◆複数回参加した35人のうち15人は同一種目を2回参加している。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

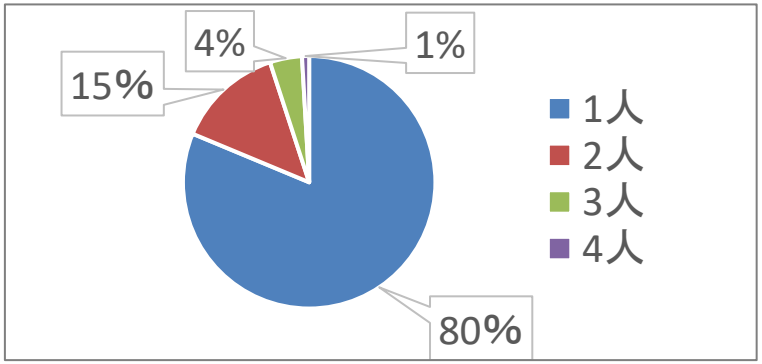
アンケート結果・参加者/関係者の声

④何人で参加しましたか （単位：人）

参加種目	1人	2人	3人	4人	合 計
HIP-HOP	6				6
アーチェリー	18	2	3		23
スポーツクライミング	31	8			39
ブレイキン	4				4
ボクシング	25	6			31
カーリング	8	4			12
スケートボード	3				3
ピックルボール	24	2	3		29
フェンシング	14				14
トランポリン	12	8	3		23
ビームライフル	23	2		2	27
ダブルダッチ	6	2			8
フィギュアスケート	7				7
リズムジャンプ	2				2
合 計	183	34	9	2	228

⑤複数名で参加した場合の関係 （単位：人）

参加種目	同じクラスの友人	同じ部活の友人	違う学校の友人	兄弟姉妹
HIP-HOP				
アーチェリー	1	1		2
スポーツクライミング	2	2		2
ブレイキン				
ボクシング	2	2	2	
カーリング			4	
スケートボード				
ピックルボール	3		2	
フェンシング				
トランポリン	1		2	2
ビームライフル	4			
ダブルダッチ			2	
フィギュアスケート				
リズムジャンプ				
合 計	13	5	12	6



◆1人での参加する中学生が80%となっており、友達と参加する中学生は少なく、友達を誘って参加というよりは、個人で興味のある種目に申込していることが考えられる。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果･参加者/関係者の声

⑥普段行っているスポーツ活動の活動場所

（単位：人）

参加種目	なし	部活動	習い事	部活動・その他	部活動・習い事	部活動・クラブチーム	部活動・習い事・クラブチーム	クラブチーム	部活動・習い事・その他	習い事・クラブチーム	その他	習い事・その他	合 計
HIP-HOP		1	4								1		6
アーチェリー	10	5	6		1							1	23
スポーツクライミング	16	7	9	1			1	2		3			39
ブレイキン	1		3										4
ボクシング	8	12	5		3			3					31
カーリング	5	2	1	1				1		2			12
スケートボード	1		2										3
ピックルボール	11	3	9	1	1	1	2	1					29
フェンシング	3	2	6		2		1						14
トランポリン	7	7	3			1		4	1				23
ビームライフル	9	1	9	2	2	1		1		1	1		27
ダブルダッチ	2	1	2	1		1		1					8
フィギュアスケート	4	2	1										7
リズムジャンプ	1	1											2
合 計	78	44	60	6	9	4	4	13	1	6	2	1	228

◆普段、スポーツ活動を行っていない生徒の参加が78人（34%）であった。
◆普段、スポーツ活動を行っている中でも、複数の活動を行っている生徒は47人（20%）いた。
その中でも、同一種目を複数の場所で活動している生徒よりも、違う種目の活動をしている生徒の方が多かった。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

⑦参加しようと思ったきっかけ（複数回答可）

（単位：人）

種　目	楽しそう	普段と違うスポーツをやってみたい	体を動かす機会が欲しい	練習したい上手くなりたい	他の人から指導を受けてみたい	友人に誘われた	やる機会がなかったから	なんとなく
HIP-HOP	2	0	0	3	1	0	0	2
アーチェリー	16	15	9	4	1	2	6	3
スポーツクライミング	27	19	16	7	3	5	11	9
ブレイキン	3	1	2	1	2	0	2	1
ボクシング	21	13	12	9	5	3	10	2
カーリング	9	3	3	5	0	1	0	3
スケートボード	3	2	1	2	0	0	2	0
ピックルボール	24	15	14	8	6	4	7	1
フェンシング	9	7	2	1	0	0	5	0
トランポリン	18	9	10	6	3	5	4	4
ビームライフル	24	10	3	4	1	1	8	9
ダブルダッチ	7	4	4	1	1	0	2	1
フィギュアスケート	5	3	2	5	3	0	1	1
リズムジャンプ	1	1	2	0	0	0	1	0
合　計	169	102	80	56	26	21	59	36

◆参加者の4割以上が「普段と違うスポーツに挑戦したい」と回答し、約3割が「機会がなかったこと」を参加理由として挙げた。本事業は、日常では体験しにくい種目に触れる機会の提供につながった。
◆他の指導者からの指導を希望する参加者も一定数おり、環境を変えて練習したいという向上心を持つ方にとって、有意義な機会となった。
◆興味はあるが活動場所がわからない参加者に対し、講師から情報提供を行ったことで、関心を持った種目への参加のきっかけづくりとなった。

2.実証内容と成果②

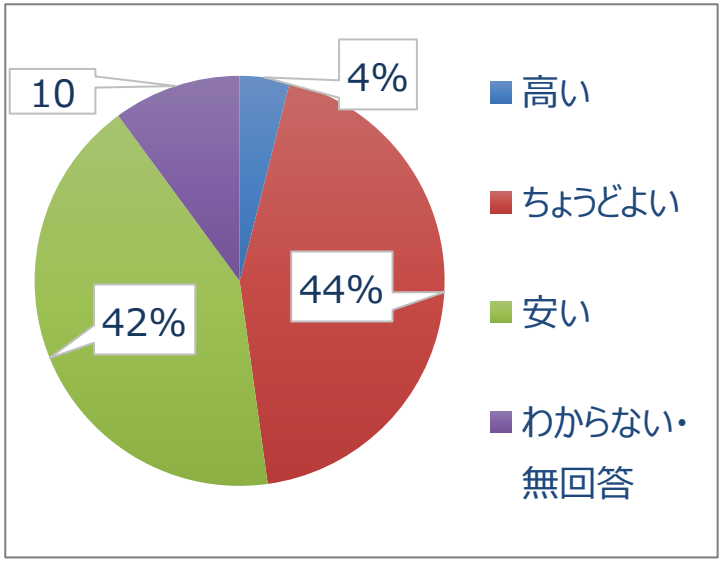
スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

⑧参加費について（1回につき500円）　（単位：人）

種　目	高い	ちょうどよい	安い	わからない 無回答	合　計
HIP-HOP		3	2	1	6
アーチェリー	1	16	6		23
スポーツクライミング		16	21	2	39
ブレイキン	1	1	2		4
ボクシング	1	11	14	5	31
カーリング		8	2	2	12
スケートボード		2	1		3
ピックルボール	3	10	13	3	29
フェンシング		8	5	1	14
トランポリン	1	7	14	1	23
ビームライフル	1	13	6	7	27
ダブルダッチ	1	3	3	1	8
フィギュアスケート		2	5		7
リズムジャンプ			2		2
合　計	9	100	96	23	228

◆アンケート結果からも参加料として500円の徴収は妥当だったと考えるが、地域スポーツクラブ活動として継続的に実施する場合には、検討が必要。
単発での参加料徴収であるため、500円が妥当のように感じるが、継続的な地域スポーツクラブ活動として実施していくためには、会員制で月会費としての実施形態の検討も必要であると考える。



⑨今後やってみたい競技・種目などについて

- 剣道
- 空手
- 合気道
- 柔道
- ジークンドー
- サッカー
- バドミントン
- エアガン競技
- サバゲー
- ゲレンデスキー
- ドッジボール
- クラブマガ
- システマ
- ハンドボール
- バレーボール
- 走り高跳び
- シャー
- アイスホッケー
- タグラグビー
- スピードスケート
- ジャガー
- ラクロス
- テニス
- HADO

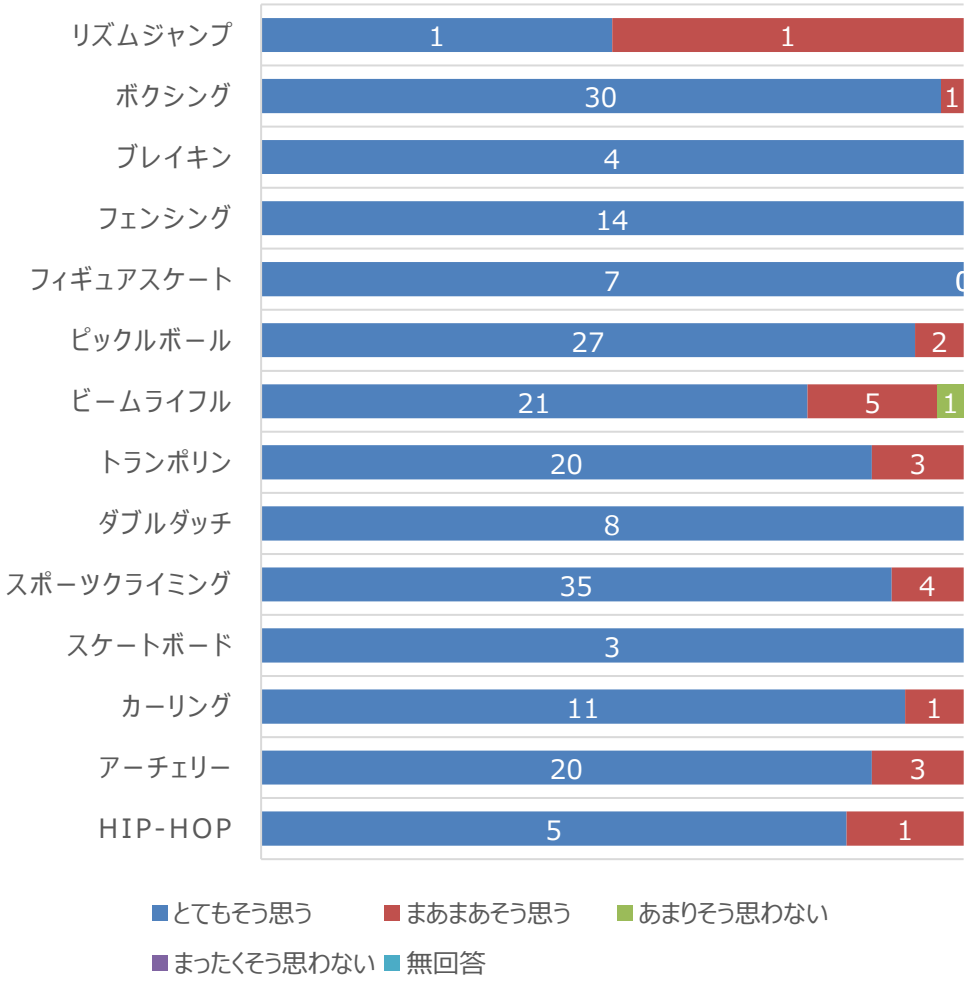
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

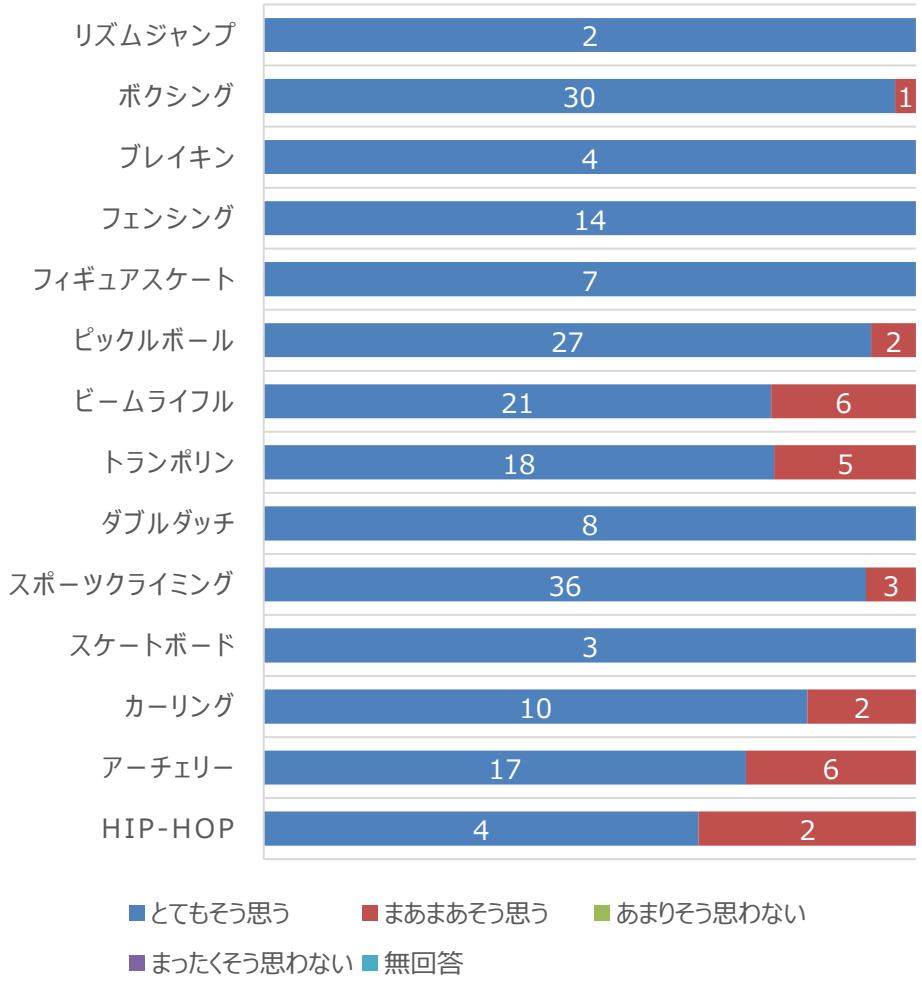
アンケート結果・参加者/関係者の声

⑩体験会の内容について

ア　楽しかった　（単位：人）



イ　指導内容に満足している　（単位：人）



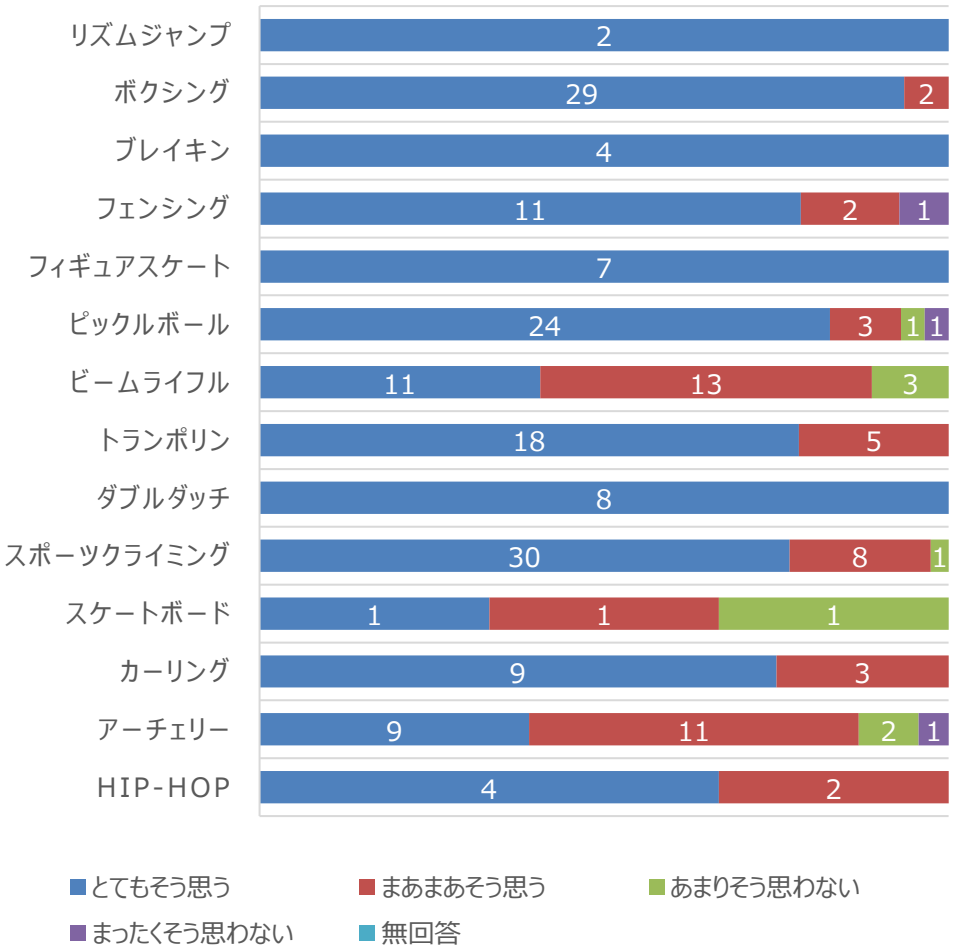
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

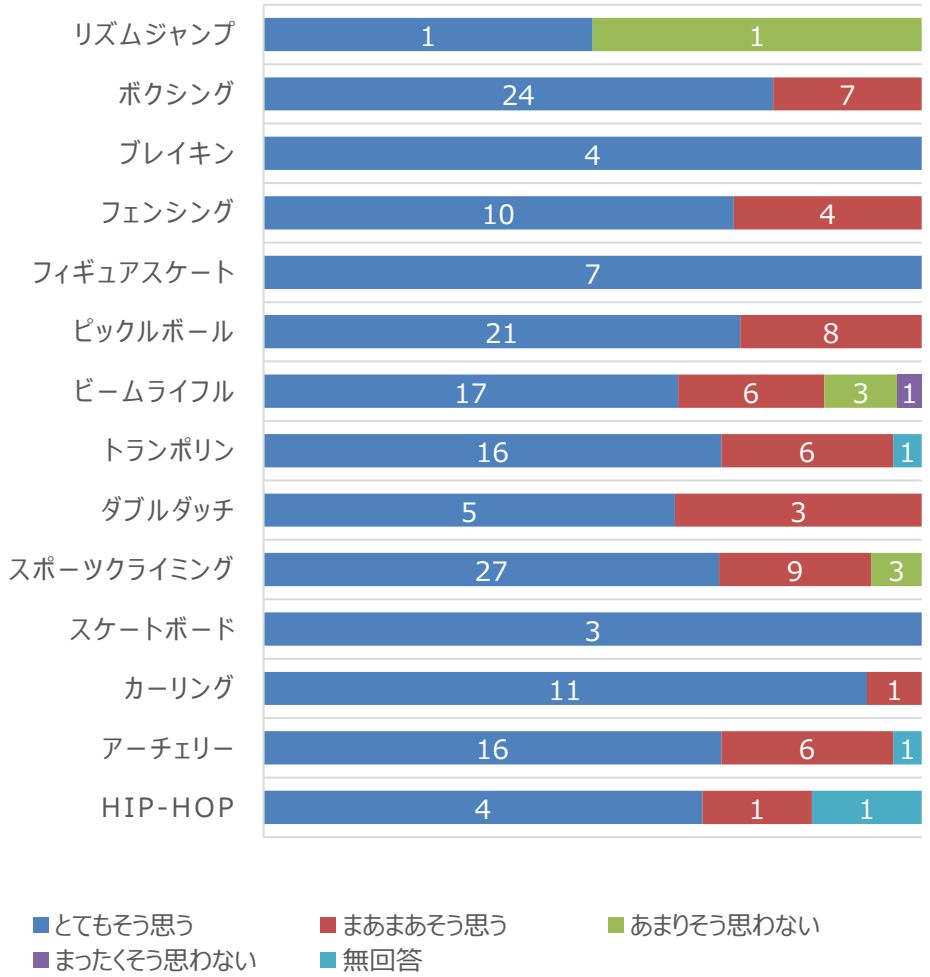
ウ　練習量に満足している

（単位：人）



エ　今後もこの競技・種目に興味関心がある

（単位：人）



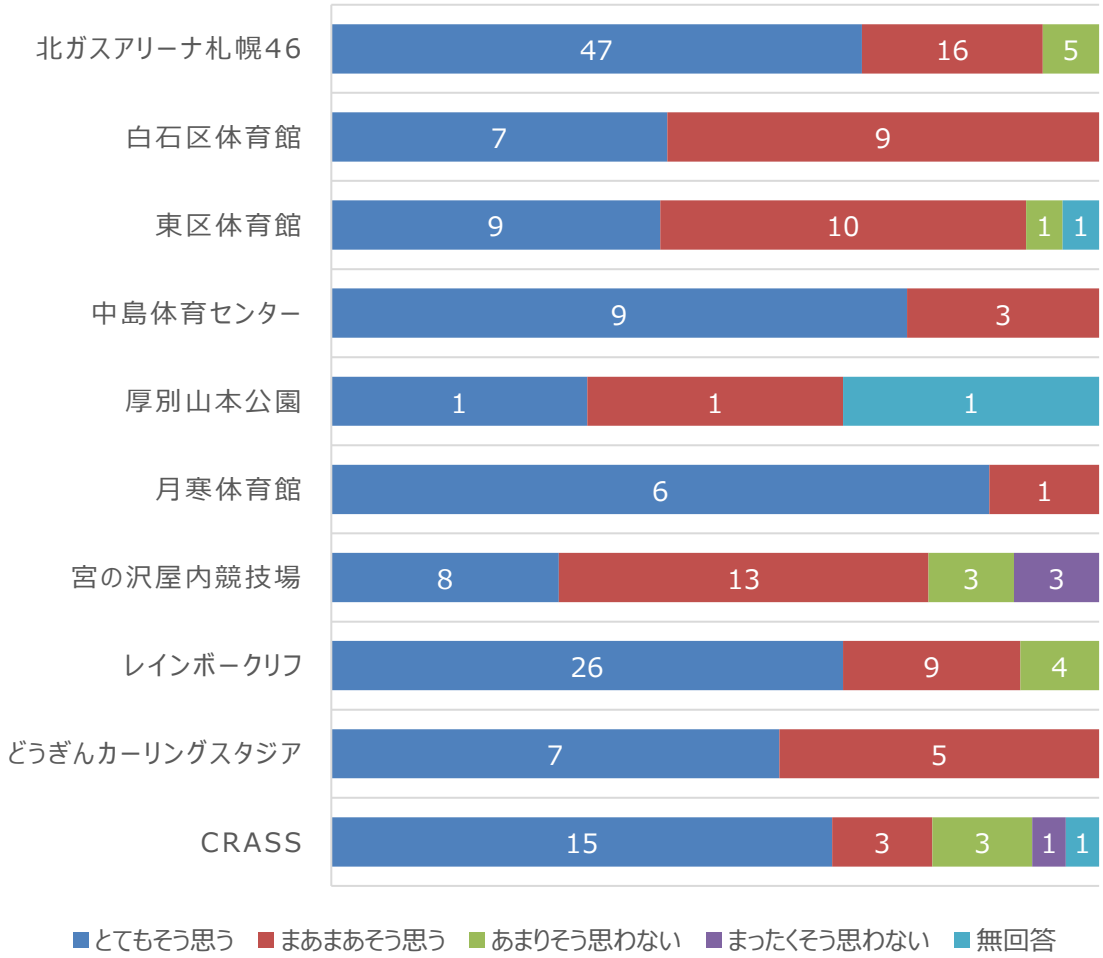
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

オ　会場へアクセスしやすかった

（単位：人）



【会場ごとの実施種目】
月寒体育館・・・フィギュアスケート
どうぎんカーリングスタジアム・・・カーリング
レインボークリフ・・・クライミング
宮の沢屋内競技場・・・ビームライフル
CRASS・・・トランポリン
北ガスアリーナ札幌46・・・アーチェリー、ボクシング、フェンシング
中島体育センター・・・ピックルボール、ブレイキン
白石区体育館・・・HIP-HOP、ピックルボール、リズムジャンプ
東区体育館・・・HIP-HOP、ダブルダッチ、ピックルボール
厚別山本公園・・・スケートボード

◆会場へのアクセス方法は公共交通機関を利用して来場することを予想して、できるだけ駅から近い会場での実施を計画した。一部種目については実施場所が限られており、昨年度の傾向から保護者の送迎で来場することを想定して計画をしたが、会場へのアクセスについて不満は少なかった。

2.実証内容と成果③

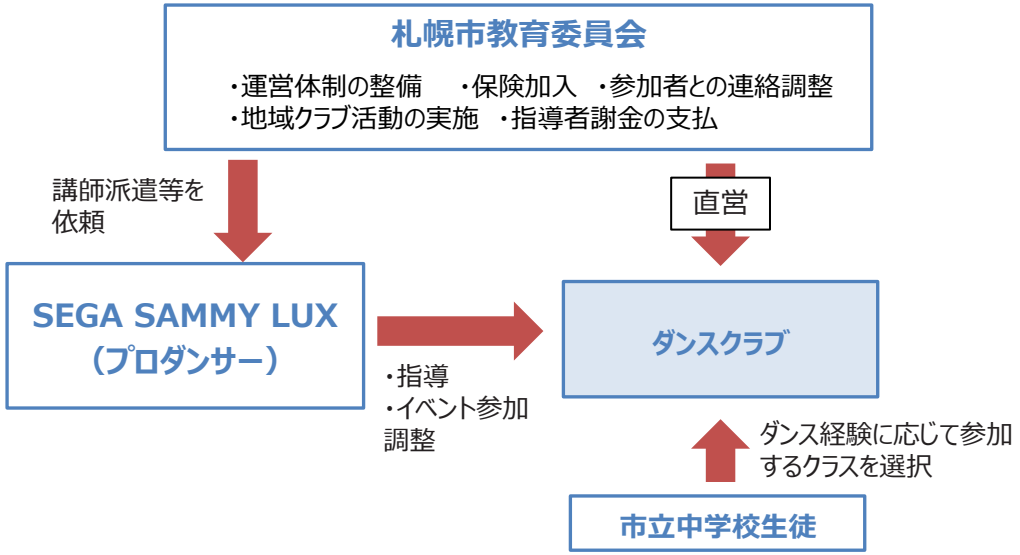
スポーツ庁

主な取組例③

●ダンスクラブ活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ダンス
運営団体名	札幌市教育委員会（直営）
期間と日数	令和7年10月～令和8年2月までの期間で計8日間実施（初心者・経験者クラスに分けて開催したため、計16回実施）
指導者の主な属性	プロダンサー（SEGA SAMMY LUX）
活動場所	札幌市生涯学習センター
主な移動手段	公共交通機関、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	8,000円/全体（計8回）
1人あたりの保険料	事業全体で54,000円 （内訳） 参加者傷害保険　30,000円 指導者傷害保険　14,000円 主催者賠償責任保険　10,000円

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●札幌市教育委員会（運営管理責任者）

役割：活動の運営（募集、参加者との連絡調整、活動の実施など）

●指導者・運営スタッフ

役割：生徒への実技指導、練習動画の共有など

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

■実施概要

日時	①令和7年10月5日（日）、②令和7年11月2日（日）、 ③令和7年11月23日（日）、④令和7年12月21日（日）、 ⑤令和8年1月11日（日）、⑥令和8年1月25日（日）、 ⑦令和8年2月8日（日）、⑧令和8年2月22日（日） ※活動時間帯は初心者向けクラスが13:00～14:30、 経験者向けクラスが15:15～16:45（⑦を除く）
会場	①～⑥、⑧札幌市生涯学習センター映像スタジオ ⑦さっぽろ雪まつり会場（大通公園）
指導者	SEGA SAMMY LUX所属のプロダンサー（各回2人）
参加者数	初心者向けクラス：4人 経験者向けクラス：22人

■カリキュラム

クラス	概要
初心者向け	・ストレッチ・リズムトレーニング ・ダンスルーティーン練習 （さっぽろ雪まつり出演者へは、個別に振り付け） ・さっぽろ雪まつりの出演　　等
経験者向け	・ストレッチ・リズムトレーニング ・ダンスルーティーン練習 ・さっぽろ雪まつりに向けた振り付け ・さっぽろ雪まつりへの出演　　等

取組の成果

○民間企業がかかわることで、プロダンサーによる指導、大規模なイベント（さっぽろ雪まつり）への出演という、得難い経験の場を参加生徒へ提供することができた。
○参加生徒は、指導者の振り付け動画により自宅でも練習を行い、短期間で集中して活動することができたとの声があった。
○活動を通して、部活動には無い種目、専門性の高い指導者からの指導に一定のニーズがあることが確認できた。

今後の取組における課題　課題への対応方針

○専門性の高い指導には一定の費用を要するが、アンケート結果からは、保護者の中でも費用負担の感覚が様々であることが確認できたため、今後の地域展開の方針検討の参考としたい。
○民間企業等の力を活用することで、通常の部活動では提供できない経験の場を生徒へ提供できる可能性があるため、生徒の活動機会の充実に向けて、様々な主体が地域クラブに関わることができるよう検討を進めたい。



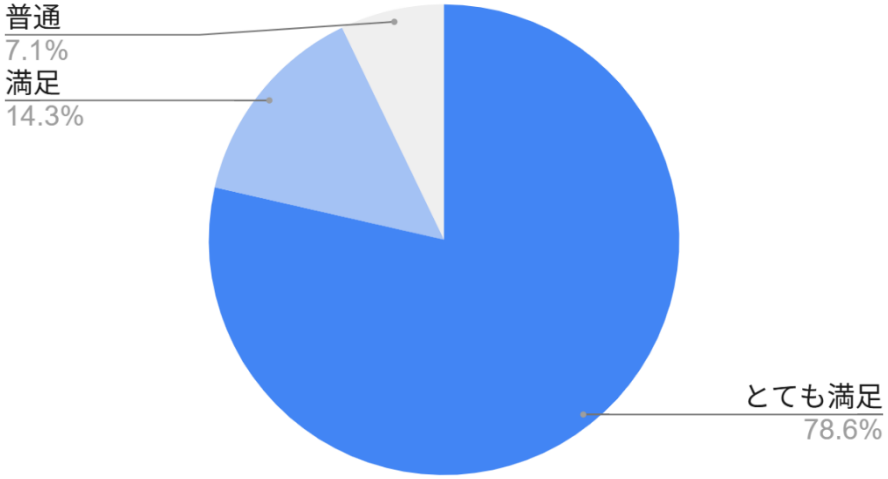
さっぽろ雪まつりのステージに出演

2.実証内容と成果②

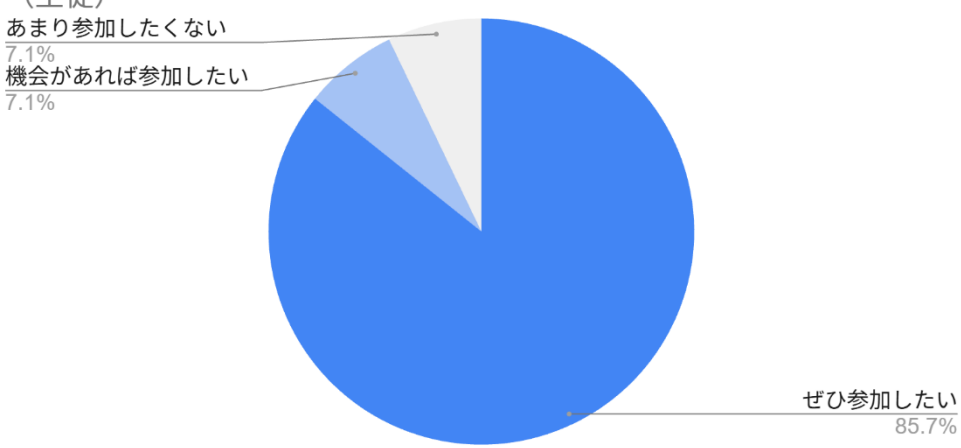
スポーツ庁

アンケート結果（参加者・保護者）

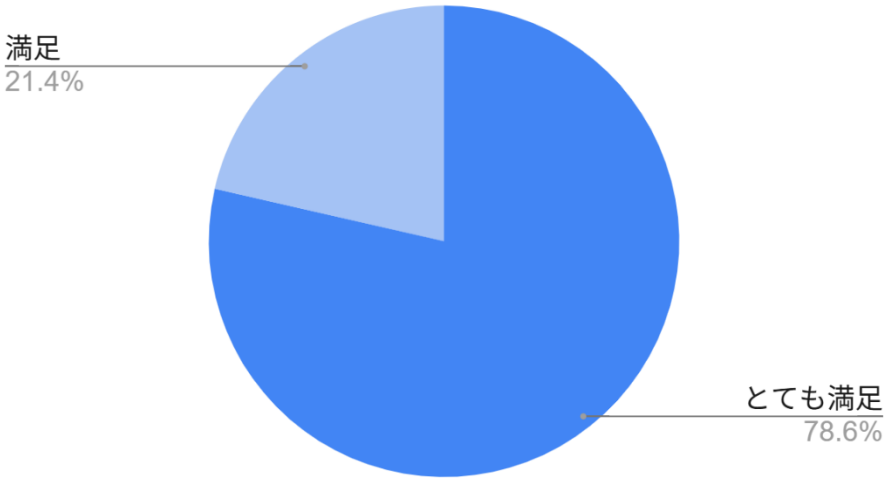
「ダンス部」の満足度（生徒）



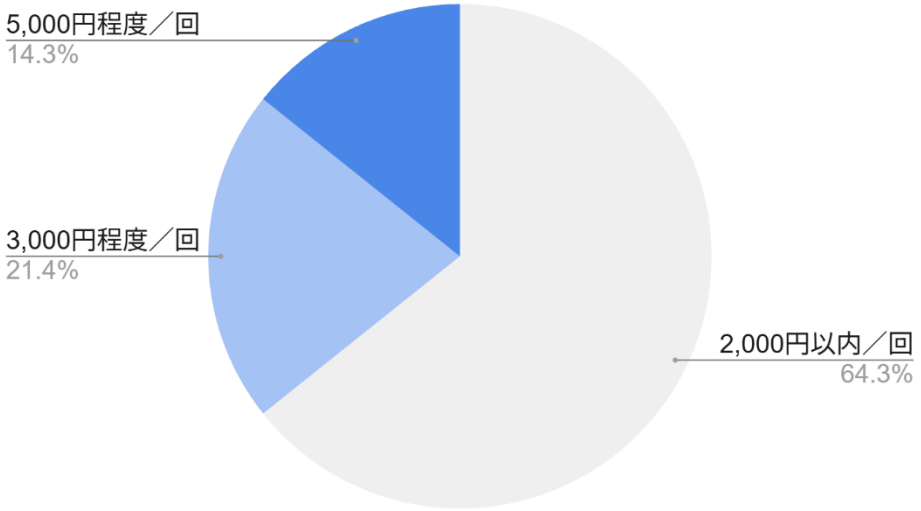
またこのようなダンス部の活動があれば参加したいですか？（生徒）



「ダンス部」の満足度」（保護者）



このような活動について、参加費としてご負担可能な金額（保護者）



2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

・今回実施した3つの実証事業（ハンドボール、多種目体験型及びダンス）により、地域展開に向けた課題整理を行うことができた。

・ハンドボールについて、既存の部活動をベースに休日の活動を「生徒のレベル・志向に合わせたクラス別の活動」・「隣接する中学校などが合同で活動」といった形で、したことで、部活動を地域クラブへ移行する際にどのような動きとなるのか、どういった効果・課題があるのかを実証することができた。

・多種目体験型においては、市内のスポーツ競技団体の総括・市内のスポーツ施設の管理運営を担う札幌市スポーツ協会と連携することで、各競技団体・市内のスポーツ施設を活用し、従来の学校部活動にはない種目も含めた多様な体験機会を提供することができた。

・ダンスにおいては、従来の学校部活動にはない、新しい活動機会を設けるにあたり、プロダンスチーム『SEGA SAMMY　LUX』のダンサーを講師に迎えたことで、高い専門性のある指導にニーズがあることが確認できた。

●成果の評価

・ハンドボールについて、「クラス別での活動」・「隣接する中学校などが合同で活動」としたことで、生徒の満足度が向上したことや、複数校の生徒が参加したことで地域展開に向けた機運醸成を図ることができたことが評価できる。

・多種目体験型については、参加生徒から、体験した種目を継続的に習いたいという声がしばしば聞かれ、指導員から活動場所の情報提供をするなど、スポーツに親しむきっかけづくりとなったことが評価できる。

・ダンスについては、既存の部活動にはない種目において、プロダンサーによる高い専門性のある指導により生徒の高い満足度が得られたことはもとより、運営に携わった企業の協力により、参加生徒が「さっぽろ雪まつり」のステージに出演するなど、生徒に貴重な経験の場を提供することができたことが評価できる。

●今後に向けて

今回の実証事業の成果・課題の検証を踏まえながら、生徒の個性・得意分野等の尊重、学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出に向けて、地域の様々な人材を活用した地域展開に向けた検討を進めていく必要がある。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年		令和6年	令和7年		令和8年
検討委員会設置	生徒、保護者、教職員向けアンケートの実施	ニーズを踏まえた実証事業の企画・実施	・関係団体との調整 ・検討委員会にR6実証事業の結果等を報告・意見聴取	実証事業の実施	実証事業の継続実施（予定）

●ステークホルダー

学校、市教委、市長部局、民間事業者など

●経過

・令和5年度から地域の有識者やスポーツ・文化芸術団体関係者等を交えた部活動地域移行及び地域スポーツ・文化芸術活動の機会確保に向けた検討委員会を設置し、札幌市における部活動の地域移行及び持続可能で多様なスポーツ・文化芸術活動の機会確保に向け、外部有識者から意見を聴取。

・検討委員会の開催に向けて、令和5年7月に、市立小学校、中学校等の児童、生徒、保護者及び教育職員を対象として部活動の地域移行に関するアンケート調査を実施。本アンケートのうち、小学生を対象とした「中学生になったらやってみたいスポーツ活動について」の回答結果でニーズの高かった種目を中心とした多種目体験型の地域スポーツ活動について実証事業として実施に向けた検討を進めた。

・令和6年度に実施した実証事業の結果については、検討委員会に報告し、いただいた意見を参考に民間事業者や関係団体と協議のうえで、令和7年度の実証事業を検討した。

・令和7年度は実証事業の対象校選定などを行い、実証事業を実施。

●実施にあたって生じた課題

・多種目体験型・ダンスについては、市内全域を対象とした実証事業であったため、参加者の募集に当たって、市立中学生全員に周知する必要があった。

・しかし、現時点ではチラシを配布する以外に効果的な周知方法がないことから、複数回にわたって大量のチラシを学校に送付する必要があり、運営者、学校双方にとって負担が生じてしまったことから、効果的・効率的な周知方法について検討が必要。

●実施内容、工夫した点 等

・ダンスについては、運営に携わった企業の全面的な協力により、活動成果の発表の場として2月に開催された「さっぽろ雪まつり」のステージに出演することができた。

・企業の協力により、一般的な部活動では経験できない機会を参加生徒に提供することで、生徒・保護者の高い満足度が得られた。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

2022年度（R4）	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度～（R8）
	検討委員会の開催			
			関係団体との調整	
			地域クラブ認定制度の検討・構築	
実証事業（休日部活動の民間委託、新たな地域クラブ活動の整備、部活動ベース・平日も含めた地域クラブ活動など）				
部活動指導員等の外部専門人材の活用、合同部活動の実施				

国や他都市の動向等を踏まえながら札幌市の地域展開の方向性を検討